

パソコンを利用する

パソコンを使ってできること

カメラを、付属のUSBクレードルを介してパソコンに接続して、次のことができます。

画像を見る/ 保存する*	カメラの画像をパソコンで見たり、パソコンに保存することができます。
画像を管理/ 編集/印刷す る	パソコンに保存した画像に対して、管理や編集、印刷することができます。 ● 以降の説明をお読みになり、必要なソフトをパソコンにインストールしてください。
画像を転送 する	Windowsパソコンの場合のみ、パソコンに保存されている画像をカメラに転送できます。 ● カメラで撮影した画像以外の画像も転送できます。また、パソコンに表示されている画面の一部(Webページの情報や地図など)をキャプチャー(切り抜き)して転送できます。
書類データを 転送する	パソコンでプリントできる書類データをカメラに転送できます。

※カメラとパソコンを接続せず、カメラから取り出したメモリーカードを直接パソコンにセットして、画像を見たり保存したりする方法もあります(174ページ)。

カメラとパソコン、付属のソフトを使ってできることや操作のしかたは、Windowsパソコンの場合とMacintoshの場合で異なります。

- Windowsパソコンの場合→「Windowsパソコンを利用する」(151ページ)
- Macintoshの場合→「Macintoshを利用する」(168ページ)

重要

- このカメラは、USB2.0 Hi-Speedに対応しています。USB1.1対応のパソコンでもご使用できますが、USB2.0 Hi-Speedに対応したパソコンに接続することにより、より高速な転送が行えます。ただし、機器の構成やUSBハブのご使用等により、転送速度が遅くなったり、正常に動作しない場合があります。



Windowsパソコンを利用する

OSのバージョンおよび使用目的に応じて、必要なソフトをインストールしてください。

使用目的	OSのバージョン	インストールするソフト	参照ページ
<ul style="list-style-type: none"> パソコンで画像を見る パソコンに画像を保存 	Vista/ XP/ 2000/Me	— (USBドライバは不要です。)	—
	98SE/98	USB driver Type B <ul style="list-style-type: none"> USBドライバはカシオデジタルカメラオフィシャルWebサイト (http://dc.casio.jp/) からダウンロードしてください。 	155
パソコンに自動で画像を保存/画像の管理	Vista/ XP/2000	Photo Loader with HOT ALBUM 3.1 DirectX 9.0c(パソコンにDirectX 9.0以上がないとき)	160
動画の再生	XP/2000	QuickTime 7	161

使用目的	OSのバージョン	インストールするソフト	参照ページ
動画の編集	Vista/ XP/2000	VideoStudioおまかせモード3.2 SE VCD (英語版は、Movie Wizard 3.2 SE VCD) <ul style="list-style-type: none"> ほかにDirectX、Microsoft Windows Media Player、QuickTime 7、Flash Playerが必要です。 	163
	XP/2000	VideoStudio10 Plus for CASIO(体験版) (英語版は、VideoStudio10 Plus for CASIO(Trial Version.)) <ul style="list-style-type: none"> 上記のソフトは体験版ですので、ご使用はインストール後30日間限定です。 ほかにDirectX、Microsoft Windows Media Player、QuickTime 7、Flash Playerが必要です。 	164

使用目的	OSのバージョン	インストールするソフト	参照ページ
動画の編集	Me/ 98SE/98	— • 必要に応じて、市販のソフトをご利用ください。	—
YouTubeサイトへの動画のアップロード	Vista/ XP(SP2)/ 2000(SP4)	YouTube Uploader for CASIO	162
カメラへの画像の転送	Vista/ XP/ 2000/ Me/ 98SE/98	Photo Transport 1.0	164
書類データの転送	Vista/ XP/2000	CASIO DATA TRANSPORT 1.0	178
電子本の転送	Vista/ XP/2000	T-Time	179

使用目的	OSのバージョン	インストールするソフト	参照ページ
取扱説明書を表示	Vista/ XP/ 2000	Adobe Reader 8 (すでにインストールされているときは、不要です。)	167
	Me/ 98SE/98	— • パソコンにAdobe ReaderまたはAdobe Acrobat Readerがインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからOSにあったバージョンをインストールしてください。	—

■ 同梱ソフト使用時の動作環境について

使用するソフトによってパソコンに必要な動作環境が異なりますので、必ず確認してください。また、各ソフトの動作環境はアプリケーションを動作させるために必要な最低限の性能です。取り扱う画像サイズや枚数によって、これ以上の性能を必要とします。

Photo Loader with HOT ALBUM 3.1

HD : 2GB以上

その他: Internet Explorer 5.5以上のインストール
DirectX 9.0以上
Windows Media Player 9以上
QuickTime 7以上

DirectX 9.0c

HD : インストールに65MB(HDは18MB)

YouTube Uploader for CASIO

- OSが正常に動作すること
- YouTubeサイトにより動画が再生できること
- YouTubeサイトに動画がアップロードできること

Photo Transport 1.0

メモリー: 64MB以上

HD : 約2MB以上

CASIO DATA TRANSPORT 1.0

- OSが正常に動作すること

T-Time

- OSが正常に動作すること

Adobe Reader 8

CPU : Pentium IIIクラス

メモリー: 128MB以上

HD : 180MB以上

その他: Internet Explorer 6.0以上のインストール

QuickTime 7

CPU : Pentium以上

メモリー: 128MB以上

OS : Windows 2000 Service Pack 4/XP

VideoStudioおまかせモード3.2 SE VCD (英語版: Movie Wizard 3.2 SE VCD)

CPU : Intel Pentium 4, M, D, Extreme Edition, または
AMD Athlon 64 以上

メモリー: 256MBのRAM(512MB以上推奨)

HD : 250MBの空き領域(プログラムインストール用)
ビデオキャプチャおよび編集用に4GB以上のハード
ディスクスペース

その他 : 画面の解像度1024×768以上
他にDirectX、Microsoft Windows Media Player、
QuickTime 7、Flash Playerが必要

VideoStudio10 Plus for CASIO(体験版) (英語版:VideoStudio10 Plus for CASIO(Trial Version.))

※30日期間限定版

- CPU : Intel Pentium 4, M, D, Extreme Edition, または
AMD Athlon 64 以上
- メモリー: 512MBのRAM(1GB以上推奨)
- HD : 1GBの空き領域(プログラムインストール用)
ビデオキャプチャおよび編集用に4GB以上のハード
ディスクスペース
- その他 : 画面の解像度1024×768以上
他にDirectX、Microsoft Windows Media Player、
QuickTime 7、Flash Playerが必要

重要

- 各ソフトの詳しい動作環境については、付属のCD-ROM
(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)内
の「お読みください」ファイルを参照して、ご確認ください。

■ 英語版のソフトを利用するときは

英語版のソフトを利用したいときは、CD-ROMから英語のソフトをインストールしてください。ただし、日本語版と英語版を2重インストールしないでください。

- 英語版のソフトをインストールするときは、CD-ROMをパソコンにセットして、日本語のMENU画面が表示されたら、“Language”の“English”をクリックします。

■ 同梱ソフトをWindows Vistaで使用する場合がございます

- Photo Transport、CASIO DATA TRANSPORTは、64bitのWindows Vistaには対応していません。
- Photo Transport、CASIO DATA TRANSPORTは、管理者(Administrator)権限以外は使用できません。
- 自作パソコンやデュアル環境でのサポートは行っていません。
- お客様のパソコン環境によっては、対応できない場合があります。
- 以前購入されたカメラに同梱のPhoto Loaderで保存している画像データは、Photo Loader with HOT ALBUMに移行することで引き続きお使いいただけます。

画像をパソコンで見る／パソコンに保存する

USBクレードルを介してカメラをパソコンに接続して、画像(静止画や動画などのファイル)をパソコンで見たり、パソコンに保存することができます。

- Windows Vista/XP/2000/Meの場合は、USBドライバをインストールする必要はありません。パソコンと接続するだけで利用できます。
- Windows 98SE/98の場合は、USBドライバをインストールする必要があります(151ページ)。USBドライバは、カシオデジタルカメラオフィシャルWebサイト(<http://dc.casio.jp/>)からダウンロードしてください。

Windows 98SE/98の場合は、USBドライバをインストールする前にカメラとパソコンを接続しない!

パソコンがカメラを認識しなくなります。

Windows 98SE/98をお使いの場合、必ず最初にUSBドライバをインストールしてください。

インストールが終わるまで、カメラとパソコンを接続しないでください。

操作の流れ

1. カメラとパソコンを、USBクレードルを使って接続する(155ページ)



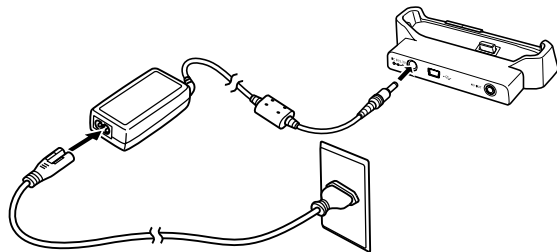
2. 画像ファイルを見る／保存する(157ページ)

■ カメラとパソコンを接続する

★ 重要

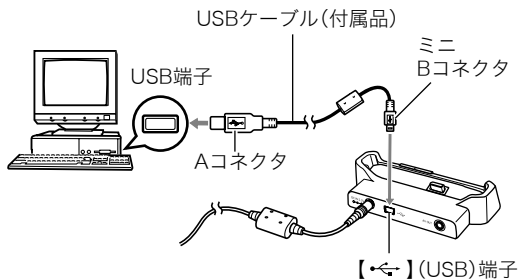
- ACアダプターを使用しないでパソコンとファイルのやりとりを行った場合、電池が消耗していると、操作中にカメラの電源が切れる可能性があります。専用ACアダプターを使用することをおすすめします。

1. 付属のACアダプターをUSBクレードルの【DC IN 5.3V】と家庭用コンセントに接続する



- ACアダプターを使用しないときは、十分に充電された電池を使用してください。

2. 付属のUSBケーブルで、USBクレードルとパソコンのUSB端子を接続する



- USB端子の形状とケーブルの接続端子の形状を合わせて接続してください。
- USBコネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続しないと、正常に動作しません。

3. カメラの電源を入れ、【MENU】を押す

- カメラはまだUSBクレードルにセットしないでください。

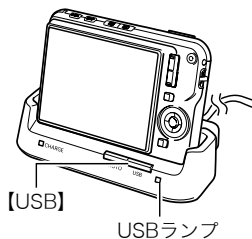
4. “設定”タブ → “USB”と選び、【▶】を押す

5. 【▲】【▼】で“Mass Storage”を選び、【SET】を押す

6. カメラの電源を切り、カメラをUSBクレードルの上にセットする

- カメラの電源を入れたまま、USBクレードルの上にセットしないでください。
- 内蔵メモリの画像をパソコンに保存する場合は、カメラからメモリーカードを取り出した状態でUSBクレードルにセットしてください。

7. USBクレードルの【USB】を押す



カメラとパソコンを接続すると

USBモードになり、USBクレードルのUSBランプが緑色に点灯します。パソコンは、カメラ内のメモリーカードまたは内蔵メモリーを「リムーバブルディスク」として認識します。

カメラのUSB設定を変更しない限り、次回からは手順3から5の操作は不要です。

- パソコンのOSの環境によっては、「リムーバブルディスク」ガイダンスが表示されることがあります。この場合は、ガイダンスを閉じてください。

重要

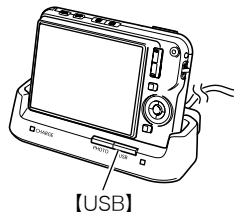
- 「カメラをUSBクレードルからはずす」(159ページ)の操作を行わずにケーブルを抜いたり、カメラをUSBクレードルからはずさないでください。画像データが破壊される恐れがあります。

2回目以降のパソコンとの接続

次にカメラとパソコンを接続するときは、以下のようにします(メニューからの設定が不要になります)。

1. カメラの電源を切ってから、カメラをUSBクレードルの上にセットする
2. USBクレードルの【USB】を押し

- USBモードになり、USBクレードルのUSBランプが緑色に点灯します。



カメラの画像をパソコンで見る

カメラとパソコンを接続した状態で、パソコンでカメラの画像を見ることができます。

1. Windows XPの場合:
“スタート”→“マイコンピュータ”の順でクリックする

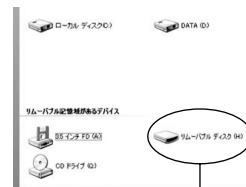
Windows Vistaの場合:
“スタート”→“コンピュータ”の順でクリックする
Windows 2000/Me/
98SE/98の場合:
“マイコンピュータ”をダブルクリックする



Windows XPの場合

2. “リムーバブルディスク”をダブルクリックする

- メモリーカードまたは内蔵メモリーは、「リムーバブルディスク」として認識されています。



リムーバブルディスク

3. “DCIM”フォルダをダブルクリックする



4. 見たい画像が入ったフォルダをダブルクリックする



5. 見たい画像ファイルをダブルクリックする

画像が表示されます。

- ファイル名については「メモリー内のフォルダ構造」(175ページ)を参照ください。



参考

- カメラ内で回転表示させた画像をパソコンで見た場合は、回転させる前の画像が表示されます。

■ 画像をパソコンに保存する

パソコンで画像を加工したりアルバムを作るには、画像をパソコン内に保存する必要があります。保存は、カメラをUSBケーブルを介してパソコンに接続した状態でいきます。

1. Windows XPの場合:
“スタート”→“マイコンピュータ”の順でクリックする

Windows Vistaの場合:
“スタート”→“コンピュータ”の順でクリックする

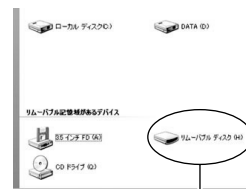
Windows 2000/Me/
98SE/98の場合:
“マイコンピュータ”をダブルクリックする



Windows XPの場合

2. “リムーバブルディスク”をダブルクリックする

- メモリーカードまたは内蔵メモリーは、「リムーバブルディスク」として認識されています。



リムーバブルディスク

3. “DCIM”フォルダを右ボタンでクリックする



4. メニューの“コピー”をクリックする

5. Windows XPの場合:

“スタート”→“マイドキュメント”の順でクリックする

Windows Vistaの場合:

“スタート”→“ドキュメント”の順でクリックする

Windows 2000/Me/98SE/98の場合:

“マイドキュメント”をダブルクリックして開く

- すでに“DCIM”フォルダが保存されている場合は、上書きされてしまいます。すでに保存されている“DCIM”フォルダの名前を変えるなどしてからコピーしてください。

6. “マイドキュメント”メニューで、“編集”→“貼り付け”の順でクリックする

“DCIM”フォルダ(画像ファイルが保存されているフォルダ)が“マイドキュメント”フォルダにコピーされ、画像も一緒にパソコンに保存されます。

重要

- 内蔵メモリーやメモリーカード内の画像に対して、パソコンで修正・削除・移動・名前の変更などを行わないでください。画像管理データと整合性がとれず、カメラで再生できなくなったり、撮影枚数が極端に変わったりします。修正・削除・移動・名前の変更などはパソコンに保存した画像で行ってください。
- 画像を見たり保存している途中でケーブルを抜いたり、カメラやクレードルの操作を行わないでください。データが破壊される恐れがあります。

■ カメラをUSBクレードルからはずす

Windows Vista/XP/98SE/98の場合

USBクレードルの【USB】を押し、USBランプが消灯したのを確認してから、カメラをUSBクレードルから取りはずします。

Windows 2000/Meの場合

パソコン画面のタスクトレイのカードサービスの左クリックし、カメラに割り当てられているドライブ番号の停止を選択します。その後、USBクレードルの【USB】を押し、USBランプが消灯したのを確認してから、カメラをUSBクレードルから取りはずします。

パソコンに自動で画像を保存する／画像を管理する

パソコンに保存した画像を管理するには、付属のCD-ROMに収録されているPhoto Loader with HOT ALBUMをパソコンにインストールします。Photo Loader with HOT ALBUMを使用すれば、パソコンに画像を自動で取り込んで、撮影年月日で整理ができ、カレンダー形式で表示することができます。

■ Photo Loader with HOT ALBUMをインストールする

1. パソコンを起動し、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる
 - パソコンの設定によっては、自動的にメニュー画面が表示されない場合があります。その場合は、CD-ROMが割り当てられているドライブを開き、AutoMenu.exeをダブルクリックしてください。
2. “Photo Loader with HOT ALBUM 3.1”をクリックして選び、“お読みください”をクリックして読む
 - インストールするために必要な条件や動作環境が書かれています。
3. Photo Loader with HOT ALBUMの“インストール”をクリックする
4. 画面の指示にしたがって操作する
Photo Loader with HOT ALBUMがインストールされます。

DirectXの確認

Photo Loader with HOT ALBUMで取り込んだ画像を管理するには、パソコンにDirectX 9.0以上がインストールされている必要があります。パソコンの「DirectX 診断ツール」を見てDirectXのバージョンを確認してください。

1. パソコンのメニューで“スタート”→“すべてのプログラム”→“アクセサリ”→“システムツール”の順でたどり、“システム情報”を開く
2. メニューバーから“ツール”→“DirectX 診断ツール”の順で開く
3. “システム”タブをクリックし、“DirectX バージョン”が9.0以上であることを確認する
4. “終了”をクリックして「DirectX 診断ツール」を終了する
 - DirectX 9.0以上がインストールされている場合は、付属のCD-ROMに収録されている「DirectX 9.0c」をインストールする必要はありません。
 - DirectX 9.0以上がインストールされていない場合は、付属のCD-ROMに収録されている「DirectX 9.0c」をインストールしてください。

動画を再生する

動画はQuickTime 7以降をインストールすると再生することができます。パソコンに動画をコピーしてから、画像ファイルをダブルクリックして再生してください。



1. パソコンを起動し、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

- パソコンの設定によっては、自動的にメニュー画面が表示されない場合があります。その場合は、CD-ROMが割り当てられているドライブを開き、AutoMenu.exeをダブルクリックしてください。

2. “QuickTime 7”をクリックして選び、“お読みください”をクリックして読む

- インストールするために必要な条件や動作環境が書かれています。

3. “QuickTime 7”の“インストール”をクリックする

4. 画面の指示にしたがって操作する

QuickTime 7がインストールされます。

■ 動画再生時の動作環境

カメラで撮影した動画をパソコンで再生する場合、以下の動作環境を推奨します。

OS	: Vista/XP/2000
CPU	: Pentium M, 1GHz 以上 Pentium 4, 2GHz 以上

必要なソフトウェア: QuickTime 7, DirectX 9.0c

★ 重要

- 上記の動作環境は推奨の環境であり、動作を保証するものではありません。
- 上記動作環境のパソコンでも、設定状態やインストールされているソフトウェアによっては、正しく動作しない場合があります。

YouTubeに動画をアップロードする

ベストショットモードの“YouTube”のシーンで撮影した動画ファイルを簡単にYouTubeのWebサイトへアップロードするには、付属のCD-ROMに収録されているYouTube Uploader for CASIOをパソコンにインストールします。

YouTubeとは

YouTubeとは、YouTube, LLC社が運営する動画サイトです。YouTubeでは、動画の閲覧や動画をアップロードすることができます。ただし、動画をアップロードするには、あらかじめユーザー登録が必要となります。

■ YouTube Uploader for CASIOをインストールする

1. パソコンを起動し、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる
 - パソコンの設定によっては、自動的にメニュー画面が表示されない場合があります。その場合は、CD-ROMが割当てられているドライブを開き、AutoMenu.exeをダブルクリックしてください。
2. “YouTube Uploader for CASIO”をクリックして選び、“お読みください”をクリックして読む
 - インストールするために必要な条件や動作環境が書かれています。

3. YouTube Uploader for CASIOの“インストール”をクリックする

4. 画面の指示にしたがって操作する

YouTube Uploader for CASIOがインストールされます。

■ 動画ファイルをYouTubeにアップロードする

重要

- YouTube Uploader for CASIOを使用する前にYouTubeのWebサイト (<http://www.youtube.com/>) でユーザー会員登録をしてください。
 - 著作権(著作隣接権を含みます)により保護されているビデオは、ご自身が権利を有しているか、関係する権利者から許可を得ている場合を除いてアップロードしないでください。
1. ベストショットモードの“YouTube”のシーンで動画を撮影する
 2. あらかじめパソコンをネットワークに接続しておく
 3. カメラをパソコンに接続する
 - パソコンとの接続方法は、155ページをご覧ください。

4. USBクレードルの【USB】を押す

- YouTube Uploader for CASIOが自動的に起動します。
- 初めて起動したときは、ユーザーID、パスワード、ネットワークの設定画面が表示されますので、YouTubeのユーザーID、パスワード、お使いのネットワークの環境を設定し、[OK]ボタンをクリックしてください。

5. 画面左側に動画ファイルをアップロードするのに必要なタイトル、カテゴリー等が表示されますので、動画ファイルをアップロードする際に必要な情報を入力する

6. 画面右側に動画ファイルのリストが表示されますので、アップロードしたい動画ファイルのチェックボックスにチェックを入れる

7. すべての準備が整ったら、[アップロード]ボタンをクリックする

動画ファイルがWebサイトに転送されます。

- ファイル転送が終わったら、[終了]ボタンをクリックし、アプリケーションを終了してください。

重要

- YouTubeのWebサイトにアップロードできるファイルのサイズは、1つのファイルにつき最大100MBです。

動画を編集する

動画を編集するには、付属のCD-ROMに収録されているVideoStudioおまかせモード3.2 SE VCD(英語版:Movie Wizard 3.2 SE VCD) をパソコンにインストールします。

参考

- 付属のCD-ROMに収録されているVideoStudioおまかせモード3.2 SE VCDはVideo-CDの作成はできますが、DVDの作成はできません。製品版にアップグレード(有料)することでDVDの作成ができるようになります。VideoStudioおまかせモード3.2 SE VCDの機能やバージョンアップについては「お読みください」をご覧ください。

■ VideoStudioおまかせモード3.2 SE VCDをインストールする

1. パソコンを起動し、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

- パソコンの設定によっては、自動的にメニュー画面が表示されない場合があります。その場合は、CD-ROMが割当てられているドライブを開き、AutoMenu.exeをダブルクリックしてください。

2. “VideoStudioおまかせモード3.2 SE VCD”をクリックして選び、“お読みください”をクリックして読む

- インストールするために必要な条件や動作環境が書かれています。

3. “VideoStudioおまかせモード3.2 SE VCD”の“インストール”をクリックする

4. 画面の指示にしたがって操作する

- “VideoStudioおまかせモード3.2 SE VCD”がインストールされます。

より高度な編集をおこなう場合は、体験版として下記のアプリケーションを同じようにインストールしてご利用ください。製品版のVideoStudio10との違いは、おまかせモードの機能削除と30日の期間限定版となっています。

VideoStudio10 Plus for CASIO(体験版)
(英語版:VideoStudio10 Plus for CASIO(Trial Version.))

※30日期間限定版

カメラに画像を転送する

パソコンに取り込んだ画像を、もう一度カメラへ戻すには、付属のCD-ROMに収録されているPhoto Transportをパソコンにインストールします。

■ Photo Transportをインストールする

1. パソコンを起動し、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

- パソコンの設定によっては、自動的にメニュー画面が表示されない場合があります。その場合は、CD-ROMが割り当てられているドライブを開き、AutoMenu.exeをダブルクリックしてください。

2. “Photo Transport”をクリックして選び、“お読みください”をクリックして読む

- インストールするために必要な条件や動作環境が書かれています。

3. “Photo Transport”の“インストール”をクリックする

4. 画面の指示にしたがって操作する

Photo Transportがインストールされます。

■ 画像ファイルをカメラに転送する


1. あらかじめカメラをパソコンに接続しておく

- パソコンとの接続方法は、155ページをご覧ください。

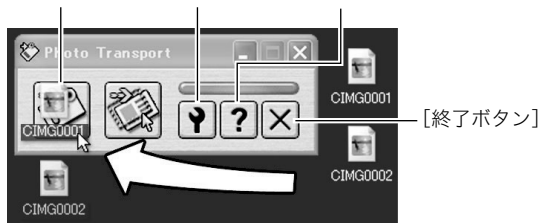
2. パソコンのメニューで“スタート”→“すべてのプログラム”→“Casio”→“Photo Transport”の順でクリックして、Photo Transportを開く

Photo Transportが起動します。

3. Photo Transportの[転送ボタン]に転送したい画像ファイルをドラッグアンドドロップする

ドラッグアンドドロップは次のようにします。転送したい画像ファイルに“” (矢印)を合わせ、マウスの左ボタンを押したままにします。そのままPhoto Transportの[転送ボタン]に画像データを引きずり、マウスの左ボタンを離します。

[転送ボタン] [設定ボタン] [ヘルプボタン]



4. 画面の指示にしたがって操作する

画像ファイルがカメラに転送されます。

- 画面の指示や転送される画像の詳細はPhoto Transportの設定によって異なります。詳しくは[設定ボタン]や[ヘルプボタン]を押して設定内容を確認してください。

★ 重要

- 画像によっては一部転送できない場合があります。
- 動画は転送できません。
- 転送できる画像は下記の拡張子の画像データです。
.jpg、.jpeg、.jpe、.bmp(.bmpはJPEG画像に変換されて転送されます。)

■ パソコンの画面をカメラに転送する

パソコンに表示されている画面を取り込んで、画像ファイルとしてカメラへ送ることができます。

1. あらかじめカメラをパソコンに接続しておく

- パソコンとの接続方法は、155ページをご覧ください。

2. パソコンのメニューで“スタート”→“すべてのプログラム”→“Casio”→“Photo Transport”の順でクリックして、Photo Transportを開く

Photo Transportが起動します。


3. 転送したい画面を表示する

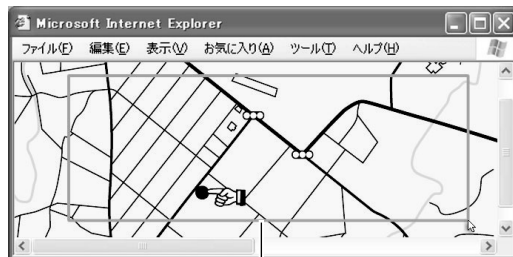
4. Photo Transportの[キャプチャーボタン]をクリックする



[キャプチャーボタン]

5. 転送したい範囲を囲む

転送したい部分の左上に“” (矢印)を移動してマウスの左ボタンを押したままにし、そのままマウスを右下へずらすことで転送したい範囲を囲みます。



転送される範囲

6. 画面の指示にしたがって操作する

囲んだ範囲の画像がカメラに転送されます。

- 画面の指示や転送される画像の詳細はPhoto Transportの設定によって異なります。詳しくは[設定ボタン]や[ヘルプボタン]を押して設定内容を確認してください。

重要

- キャプチャーした画像はJPEG画像に変換されて転送されます。

■ 設定/ヘルプについて

設定内容の変更は[設定ボタン]をクリックして変更します。設定内容、操作方法やトラブルシューティングについては、Photo Transportの[ヘルプボタン]をクリックしてヘルプをご覧ください。

取扱説明書(PDFファイル)を読む

取扱説明書をお読みになるには、パソコンにAdobe ReaderまたはAdobe Acrobat Readerがインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、Adobe Readerをインストールしてください。

ユーザー登録をする

パソコンからインターネットを通してのみ、ユーザー登録をすることができます。ユーザー登録をするには、パソコンがインターネットに接続されている必要があります。「カシオデジタルカメラオフィシャルWebサイト」へのユーザー登録となります。ユーザー登録で登録いただいた個人情報のお取り扱いに関しては、Webサイト上の「ご利用になる前に」に記載されていますので、ご確認ください。ユーザー登録はデジタルカメラ本体や付属ソフトのバージョンアップのご連絡その他情報発信を目的としています。付属ソフトウェアについては、ユーザー登録をしなくてもインストールや使用は可能です。

1. パソコンを起動し、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる
 - パソコンの設定によっては、自動的にメニュー画面が表示されない場合があります。その場合は、CD-ROMが割り当てられているドライブを開き、AutoMenu.exeをダブルクリックしてください。
2. “オンラインユーザ登録”をクリックする
Webブラウザソフトが起動し、ユーザー登録が可能になります。
3. 画面の指示にしたがってユーザー登録を行う
4. ユーザー登録が終了したら、インターネットの接続を終了する
 - 下記のアドレスからもユーザー登録ができます。
<http://www.casio.jp/reg/dc/>

CD-ROMのメニューを終了する

CD-ROMのメニューを終了するには、“終了”をクリックします。

Macintoshを利用する

Macintosh OSのバージョンおよび使用目的に応じて、必要なソフトをインストールしてください。

使用目的	OSのバージョン	インストールするソフト	参照ページ
<ul style="list-style-type: none">パソコンで画像を見るパソコンに画像を保存	OS 9/ OS X	<ul style="list-style-type: none">USBドライバは不要です。	169
パソコンに自動で画像を保存/画像の管理	OS 9	<ul style="list-style-type: none">市販のソフトをご利用ください。	172
	OS X	<ul style="list-style-type: none">OSにバンドルされているiPhotoが利用できます。	—
動画を再生	OS 9	<ul style="list-style-type: none">動画ファイルは再生できません。	173
	OS X	<ul style="list-style-type: none">OS X v10.3.9以降で、さらにQuickTime 7以降がインストールされていれば再生できます。	
書類データの転送	OS X	CASIO DATA TRANSPORT 1.0	180
電子本の転送	OS X	T-Time	180

■ パソコンの動作環境について

使用するソフトによって必要な動作環境が異なりますので、必ず確認してください。また、各ソフトの動作環境はアプリケーションを動作させるために必要な最低限の性能です。取り扱う画像サイズや枚数によって、これ以上の性能を必要とします。

CASIO DATA TRANSPORT 1.0

OS : OS X 10.2.8以降

その他 : OSが正常に動作すること

T-Time

OS : OS X 10.2.8以降

その他 : OSが正常に動作すること

- OS X 10.3以降を推奨します。
- Mac OS 9をお使いのときは、T-Time(5)を、株式会社ボイジャーのサイト (<http://www.voyager.co.jp/T-Time/>) よりダウンロードしてお使いください。

★ 重要

- 各ソフトの詳しい動作環境については、付属のCD-ROM (カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)内の「お読みください」ファイルを参照して、確認してください。

画像をパソコンで見る／パソコンに保存する

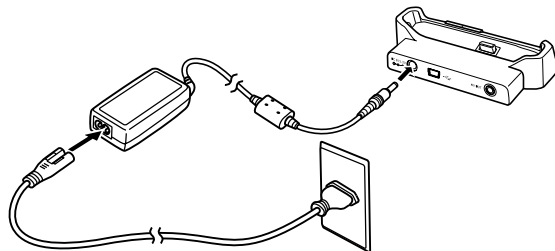
USBクレードルを介してカメラをパソコンに接続し、画像(静止画や動画などのファイル)をパソコンで見たり、パソコンに保存することができます。

★ 重要

- Mac OS 8.6以前、またはMac OS Xの10.0ではご使用できません。Mac OS 9、X(10.1、10.2、10.3、10.4)のみで使用できます(OS標準のUSBドライバを使用)。

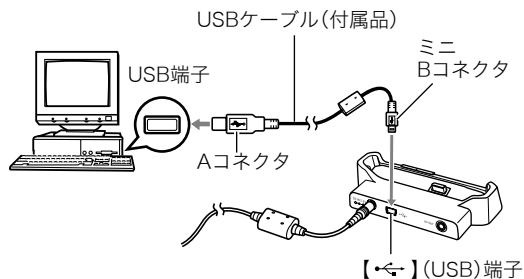
■ カメラとパソコンを接続する

1. 付属のACアダプターをUSBクレードルの【DC IN 5.3V】と家庭用コンセントに接続する



- ACアダプターを使用しないときは、十分に充電された電池を使用してください。

2. 付属のUSBケーブルで、USBクレードルとパソコンのUSB端子を接続する



- USB端子の形状とケーブルの接続端子の形状を合わせて接続してください。
- USBコネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続しないと、正常に動作しません。

3. カメラの電源を入れ、【MENU】を押す

- カメラは、まだUSBクレードルにセットしないでください。

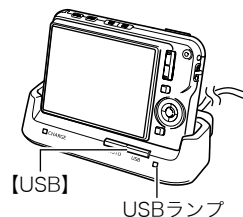
4. “設定”タブ → “USB”と選び、【▶】を押す

5. 【▲】【▼】で“Mass Storage”を選び、【SET】を押す

6. カメラの電源を切り、カメラをUSBクレードルの上にセットする

- カメラの電源を入れたまま、USBクレードルの上にセットしないでください。
- 内蔵メモリの画像をパソコンに保存する場合は、カメラからメモリーカードを取り出した状態でUSBクレードルにセットしてください。

7. USBクレードルの【USB】を 押す



カメラとパソコンを接続すると

USBモードになり、USBクレードルのUSBランプが緑色に点灯します。パソコンは、カメラ内のメモリーカードまたは内蔵メモリーを「ドライブ」として認識します。Mac OSのバージョンにより、表示されるアイコンが異なる場合があります。カメラのUSB設定を変更しない限り、次回からは手順3から5の操作は不要です。



重要

- 「カメラをUSBクレードルからはずす」(172ページ)の操作を行わずにケーブルを抜いたり、カメラをクレードルからはずさないでください。画像のデータが破壊される恐れがあります。

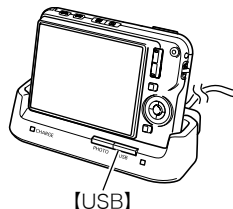
2回目以降のパソコンとの接続

次にカメラとパソコンを接続するときは、以下のようにします(メニューからの設定が不要になります)。

1. カメラの電源を切ってから、カメラをUSBクレードルの上にセットする

2. USBクレードルの【USB】を押し

USBモードになり、USBクレードルのUSBランプが緑色に点灯します。



カメラの画像をパソコンで見る

カメラとパソコンを接続した状態で、パソコンでカメラの画像を見ることができます。

1. 表示されたドライブをダブルクリックする
2. 「DCIM」フォルダをダブルクリックする
3. 見たい画像の入ったフォルダをダブルクリックする
4. 見たい画像ファイルをダブルクリックする
画像が表示されます。

重要

- パソコンのモニターに同一の画像を表示したまま放置しないでください。残像現象(画面焼け)の原因になります。

参考

- カメラ内で回転表示させた画像をパソコンで見た場合は、回転させる前の画像が表示されます。

■ 画像をパソコンに保存する

パソコンで画像を加工したりアルバムを作るには、画像をパソコン内に保存する必要があります。保存は、カメラをUSBクレードルを介してパソコンに接続した状態で行います。

1. 表示されたドライブをダブルクリックする
2. 「DCIM」フォルダを保存したいフォルダにドラッグアンドドロップする

「DCIM」フォルダがMacintosh内のフォルダにコピーされます。

- ドラッグアンドドロップとは、マウスのポインタ(矢印)が画像ファイルのアイコン上に重なった状態でマウスのボタンを押し、そのままマウスを移動(ドラッグ)させて、別の場所でマウスのボタンを離す(ドロップ)操作のことをいいます。

★ 重要

- 内蔵メモリーやメモリーカード内の画像に対して、パソコンで修正・削除・移動・名前の変更などを行わないでください。画像管理データと整合性がとれず、カメラで再生できなくなったり、撮影枚数が極端に変わったりします。修正・削除・移動・名前の変更などはパソコンにコピーした画像で行ってください。
- 画面を見たり保存している途中でケーブルを抜いたり、カメラやクレードルの操作を行わないでください。データが破壊される恐れがあります。

■ カメラをUSBクレードルからはずす

1. 画面上のカメラのドライブをゴミ箱へドラッグアンドドロップする
2. USBクレードルの【USB】を押し、USBランプが消灯しているのを確認してから、カメラをUSBクレードルから取りはずす

パソコンに自動で画像を保存する／画像を管理する

Mac OS Xをお使いの場合は、OSにバンドルされているiPhotoを使って静止画像の管理ができます。

Mac OS 9をお使いの場合は、市販のソフトをご利用ください。

動画を再生する

動画はMacintoshにすでにインストールされているQuickTimeで再生することができます。Macintoshに動画をコピーしてから、画像ファイルをダブルクリックして再生してください。



■ 動画再生時の動作環境

カメラで撮影した動画をパソコンで再生する場合、以下の動作環境を推奨します。

OS : Mac OS X v10.3.9以降

QuickTimeバージョン : QuickTime 7以降

★ 重要

- 上記の動作環境は推奨の環境であり、動作を保証するものではありません。
- 上記動作環境のパソコンでも、設定状態やインストールされているソフトウェアによっては、正しく動作しない場合があります。
- OS 9では動画ファイルは再生できません。

ユーザー登録をする

パソコンからインターネットを通してのみ、ユーザー登録をすることができます。「カシオデジタルカメラオフィシャルWebサイト」で登録を行ってください。

ユーザー登録アドレス <http://www.casio.jp/reg/dc/>

ユーザー登録で登録いただいた個人情報のお取り扱いに関しては、Webサイト上の「ご利用になる前に」に記載されていますので、ご確認ください。ユーザー登録はデジタルカメラ本体やその他情報発信を目的としています。

メモリーカードを直接パソコンに接続して画像を保存する

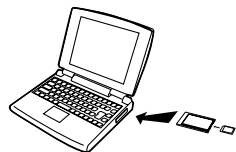
パソコンの機種によって接続方法が異なります。代表的な接続方法は次の通りです。接続後はUSBクレードル経由の接続時と同様の操作で画像の保存ができます。

■ メモリーカードスロットのある機種

ご使用のメモリーカードに対応しているかご確認のうえ、メモリーカードを直接差し込みます。

■ PCカードスロットのある機種

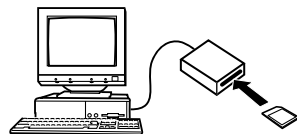
ご使用のメモリーカードに対応した市販のPCカードアダプターを使用します。具体的な使用方法は、PCカードアダプターとパソコンに付属の取扱説明書を参照ください。



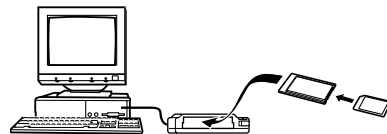
■ 前記以外の機種

以下のどちらかの方法で接続します。

- ご使用のメモリーカードに対応した市販のメモリーカード用リーダー/ライターを使用します。具体的な使用方法は、メモリーカード用リーダー/ライターに付属の取扱説明書を参照ください。



- 市販のPCカード用リーダー/ライターとご使用のメモリーカード



に対応した市販のPCカードアダプターを使用します。具体的な使用方法は、PCカード用リーダー/ライターとPCカードアダプターに付属の取扱説明書を参照ください。

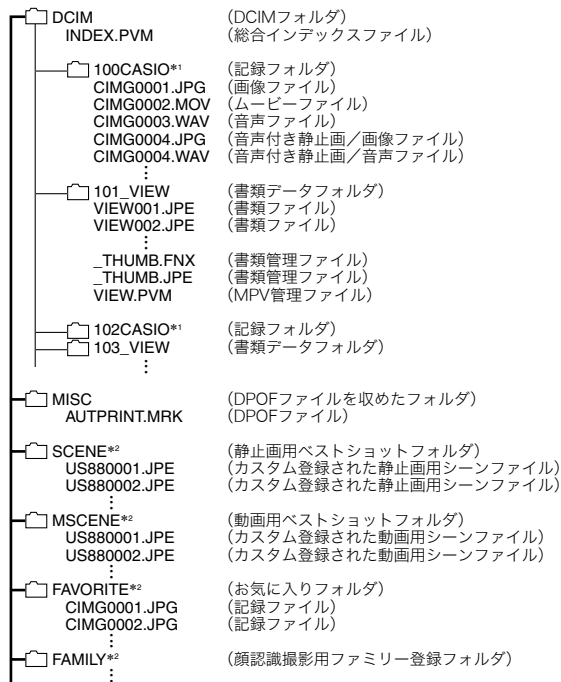
メモリー内のデータについて

本機で撮影された画像やその他のデータは、DCF (Design rule for Camera File system) 規格に準拠した方法でメモリーへ保存されます。

■ DCF規格について

DCF規格対応の機器(デジタルカメラやプリンターなど)の間で画像の互換性があります。画像ファイルのデータ形式やメモリー内のフォルダ構造に規定がありますので、本機で撮影した画像をDCF規格対応の他社のカメラで見たり、この規格対応の他社のプリンターで印刷したりすることができます。逆にDCF規格対応の他社のデジタルカメラの画像も本機で見ることができます。

■ メモリー内のフォルダ構造



SSBGM	(BGMフォルダ)
SSBGM001.WAV	(BGMファイル)
SSBGM002.WAV	(BGMファイル)
⋮	
STARTING.JPG*2	(起動画面ファイル)

- *1 本機のベストショットモードにはオークションサイトへの出品品を撮影する“オークション”のシーンを収録しています。このシーンを撮影した場合、記録フォルダ名は「100_AUCT」となります。
また、本機のベストショットモードにはYouTubeサイトへアップロードするのに最適な動画を撮影する“YouTube”のシーンを収録しています。このシーンを撮影した場合、記録フォルダ名は「100YOUTB」となります。
- *2 内蔵メモリー内のみ作成されるフォルダです。

フォルダ/ファイルの内容

- DCIMフォルダ:
カメラで扱うファイルすべてを収めたフォルダです。
- 総合インデックスファイル:
書類データフォルダの管理ファイルです。
- 記録フォルダ:
カメラで記録したファイルを収めたフォルダです。
- 画像ファイル:
カメラで撮影した画像ファイルです。拡張子は「JPG」です。
- ムービーファイル:
カメラで撮影したムービーファイルです。拡張子は「MOV」です。
- 音声ファイル:
カメラで記録した音声ファイルです。拡張子は「WAV」です。
- 音声付き静止画/画像ファイル:
音声付き静止画の画像を記録したファイルです。拡張子は「JPG」です。
- 音声付き静止画/音声ファイル:
音声付き静止画の音声を記録したファイルです。拡張子は「WAV」です。
- 書類データフォルダ:
カメラに転送した書類データを収めたフォルダです。
- 書類ファイル:
カメラに転送した書類のファイルです。
- 書類管理ファイル:
カメラに転送した書類の管理ファイルです。
- MPV/管理ファイル:
カメラに転送した書類の管理ファイルです。

- DPOFファイルを取めたフォルダ:
DPOFファイルなどを取めたフォルダです。
- 静止画用ベストショットフォルダ:
カスタム登録された静止画用シーンファイルを取めたフォルダです。
- カスタム登録された静止画用シーンファイル:
ベストショットモードの静止画撮影で使用されるファイルです。
- 動画用ベストショットフォルダ:
カスタム登録された動画用シーンファイルを取めたフォルダです。
- カスタム登録された動画用シーンファイル:
ベストショットモードの動画撮影で使用されるファイルです。
- お気に入りフォルダ:
お気に入りの画像ファイルを取めたフォルダです。320×240pixelsの画像として取められています。
- 顔認識撮影用ファミリー登録フォルダ:
ファミリー登録された顔データファイルを取めたフォルダです。このフォルダ内のデータに手を加えると、カメラが正常に動作しなくなる恐れがありますので、消去したり編集したりしないようにご注意ください。
- BGMフォルダ:
BGMを記録した音声ファイルを取めたフォルダです。
- 起動画面ファイル:
起動画面を記録したファイルです。起動画面を設定した場合に作成されます。

■ このカメラで扱える画像ファイル

- 本機で撮影した画像ファイル
- DCF規格に対応している画像ファイル

DCF規格の画像ファイルでも、使用できない機能がある場合があります。また、本機以外で撮影された画像の場合、再生にかかる時間が長くなる場合があります。

■ パソコン上で内蔵メモリー／メモリーカードを扱うときのご注意

- メモリーの内容をパソコンのハードディスクやCD-R、MOディスクなどに保存する際は“DCIM”フォルダごと保存してください。その際“DCIM”フォルダの名前を年月日などに变えておくと、あとで整理するときに便利です。ただし、パソコンのハードディスクなどに保存したファイルを再度メモリーに戻して本機で再生する場合は、フォルダ名をパソコン上で“DCIM”に戻してからご使用ください。本機では“DCIM”以外の名前のフォルダは認識されません。“DCIM”フォルダ内の他のフォルダ名を変えた場合も同様です。元の名前に戻してから使用してください。
- フォルダやファイルをカメラで正しく認識させるためには、メモリー内のフォルダ構造が175ページのフォルダ構造の通りである必要があります。

書類データをカメラに転送する／カメラで見る(データキャリング)

パソコン上で見るのできるさまざまなドキュメント、電子本、Webページなどの書類データを付属のソフトCASIO DATA TRANSPORTまたはT-Timeを使ってカメラに転送し、見ることができます。

重要

- パソコンでプリンターを使って印刷することのできるデータであれば、大抵のデータをカメラに転送することができます。ただし、それらすべてを正常に表示できることを保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
- データによっては、パソコンなど他の機器で表示した内容と異なって表示される場合があります。
- パソコンからカメラに電子本を転送するときは、T-Timeを使用してください(179、180ページ)。

参考

- T-Timeは、株式会社ポイジャーの電子本ビューワーソフトです。このソフトを使って、電子本をカメラに転送することができます。付属のCD-ROMに収録されているT-Timeは、本機用に適したサイズで書き出しができるようになっています。詳しい情報は、<http://www.voyager.co.jp/T-Time/>をご覧ください。

書類データをカメラに転送する

Windowsパソコンを利用する場合

パソコン上のさまざまな書類をカメラ上で見られるようにするには、付属のCD-ROMに収録されているCASIO DATA TRANSPORTをパソコンにインストールします。

■ CASIO DATA TRANSPORTをインストールする

1. パソコンを起動し、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる
 - パソコンの設定によっては、自動的にメニュー画面が表示されない場合があります。その場合は、CD-ROMが割り当てられているドライブを開き、AutoMenu.exeをダブルクリックしてください。
2. “DATA TRANSPORT”の“お読みください”をクリックして、読む
 - インストールするために必要な条件や動作環境が書かれています。
3. “DATA TRANSPORT”の“インストール”をクリックする

4. [OK]ボタンをクリックする

データ登録(カスタマイズ)画面が表示されます。

5. データ登録内容(日付/ファイル名/アイコン)を確認し、[OK]ボタンをクリックする

JPEG形式に変換された書類データがカメラに転送されます。

- 必要に応じて日付/ファイル名の入力、アイコンの選択を行ってください。
- 転送を中止したいときは、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。
- カメラに転送された書類データの縦横方向がパソコン上で表示したときと異なる場合は、印刷画面から[プロパティ(P)]ボタンをクリックし、“用紙方向”の縦横を切り替えたあと[OK]ボタンをクリックしてください。

Macintoshを利用する場合

パソコン上のさまざまな書類をカメラ上で見られるようにするには、付属のCD-ROMに収録されているCASIO DATA TRANSPORTをパソコンにインストールします。

■ CASIO DATA TRANSPORTをインストールする

インストールする前に、CASIO DATA TRANSPORTの「はじめにお読みください」を必ずお読みください。インストールするために必要な条件や動作環境が書かれています。

1. 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする
2. CD-ROM内の「Japanese」フォルダ内の「DATA TRANSPORT」フォルダを開く
3. “TRANSPORT_Installer”をダブルクリックする
4. 画面の説明にしたがってインストールする



重要

- 電子本をカメラで読めるようにするには、パソコンにT-Timeがインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、“ソフトのインストール”でT-Timeをインストールしてください。

■ 書類データを転送する

1. あらかじめデジタルカメラをパソコンに接続しておく
 - カメラをパソコンに接続する前に、メモリーカードをカメラに入れておいてください。
 - パソコンとの接続方法は、169ページをご覧ください。
2. パソコン上でカメラに転送したい書類ファイルを開く
3. メニューバーから“ファイル”→“プリント”の順でクリックして、印刷画面を表示する



PDFボタン

Mac OS 10.4.9の場合

4. 下段にある[PDF]ボタンをクリックし、表示されたリストから“CASIO DATA TRANSPORT”をクリックして選ぶ
データ登録(カスタマイズ)画面が表示されます。
5. データ登録内容(日付/ファイル名/アイコン)を確認し、[OK]ボタンをクリックする
JPEG形式に変換された書類データがカメラに転送されます。
 - 必要に応じて日付/ファイル名の入力、アイコンの選択を行ってください。
 - 転送を中止したいときは、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。

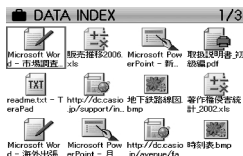
カメラに転送した書類データを見る

1. カメラを撮影モードまたは再生モードにする

2. [DATA]を押す

データモードになり、カメラに転送された書類データの一覧が表示されます。

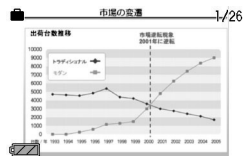
- 赤枠で囲まれたデータが現在選択されているデータです。
- ここで[DATA]を押すと、[DATA]を押す前の状態に戻ります。
- [📷]を押すと撮影モードに、[▶]を押すと再生モードに戻ります。



3. [▲][▼][◀][▶]で枠を移動し、見たい書類データを選ぶ

- [▲][▼]を押していくと画面が切り替わり、別のデータ一覧が表示されます。

4. [SET]を押して、データのページを表示する



5. データのページを切り替える

- [◀][▶]を押していくと、データの前後のページを表示します。
- [▲]を押すと、データの先頭ページへジャンプします。

参考

- [SET]またはズームボタンを押すと、書類データの一覧表示とページ表示を切り替えることができます。
- 書類データのページを表示中に[DISP]を押すと、表示メニューが表示され、情報表示の状態を切り替えることができます。

重要

- メモリーカードに転送した書類データはプリントの対象になります。そのため、書類データが転送されたメモリーカードのすべての画像をプリントするように指定してお店や自宅でプリントすると、すべての書類データのすべてのページもプリントされてしまいますので、ご注意ください(148ページ)。

書類データのページを回転させる

書類データのページを回転させて表示させることができます。

1. **[DATA]**を押す
2. **[MENU]**を押す
3. “DATA機能”タブ→“回転表示”と選び、**[▶]**を押す
4. **[◀]****[▶]**で回転させたい書類データのページを表示させる
5. **[▲]****[▼]**で“回転”を選び、**[SET]**を押す
[SET]を押すごとに、90° 左回りに回転します。
6. 希望の表示状態になったら**[MENU]**を押す

[DATA]を押した直後の書類データの表示方法を設定する

[DATA]を押した直後に常に書類データの一覧を表示するか、最後に見ていたページを表示するかを設定することができます。

1. **[MENU]**を押す
2. “設定”タブ→“DATAボタン”と選び、**[▶]**を押す
3. **[▲]****[▼]**で表示方法を選び、**[SET]**を押す
リストを表示:常に書類データの一覧を表示します。
ページを表示:最後に見ていたページのデータを表示します。

参考

- 最後に見ていたデータが一覧で表示されていた場合は、“ページを表示”に設定しても、常に書類データの一覧を表示します。

カメラ内の書類データを整理する

書類データを消去できないようにする

書類データを1データごとに、またはすべてのデータに、消去防止(メモリープロテクト)を設定することができます。

■ 1データごとにメモリープロテクトをかける

1. [DATA]を押す
2. [MENU]を押す
3. “DATA機能”タブ→“プロテクト”と選び、[▶]を押す
4. [◀][▶]でメモリープロテクトをかけたい書類データのページを表示させる
5. [▲][▼]で“オン”を選び、[SET]を押す
6. 続けて別のデータにメモリープロテクトをかける場合は手順4、手順5を繰り返す
 - メモリープロテクトの設定をやめるには、[MENU]を押してください。

メモリープロテクトを解除するには

手順5で“オフ”を選んで[SET]を押します。

■ すべてのデータにメモリープロテクトをかける

1. [DATA]を押す
2. [MENU]を押す
3. “DATA機能”タブ→“プロテクト”と選び、[▶]を押す
4. [▲][▼]で“全ファイル オン”を選び、[SET]を押す
5. [MENU]を押す

すべてのファイルのメモリープロテクトを解除するには


手順4で“全ファイル オフ”を選んで[SET]を押します。

書類データを消去する

■ 書類データのページを消去する

データのページ表示状態から、書類データ内のページを、1ページずつ、またはすべてのページを1回の操作で消去できます。


1ページずつ消去する

1. データのページを表示し、**[▼]**()を押し
2. **[◀]****[▶]**で消去したいページを選ぶ
3. **[▲]****[▼]**で“1ページ消去”を選び、**[SET]**を押す
4. 続けて別のページを消去する場合は手順2、手順3を繰り返す
 - 消去をやめるには、**[MENU]**を押してください。

重要

- 1,600ページを越える書類データでは、1ページずつページを消去することはできません。1ページずつ消去しようとする、“このファイルではこの機能は使用できません”とエラーメッセージが表示されます。

すべてのページを消去する

1. データのページを表示し、**[▼]**()を押し
2. **[▲]****[▼]**で“全ページ消去”を選び、**[SET]**を押す
3. **[▲]****[▼]**で“はい”を選ぶ
 - 消去を中止するときは、“いいえ”を選んでください。
4. **[SET]**を押す

■ 書類フォルダのデータを消去する

データの一覧表示状態から、書類データそのものを、1データずつ、または一括して消去できます。

1データずつ消去する

1. データの一覧を表示し、**[▲]****[▼]****[◀]****[▶]**で消去したいデータを選ぶ
2. **[MENU]**を押す
3. **[▲]****[▼]**で“1書類消去”を選び、**[SET]**を押す
4. **[▲]****[▼]**で“はい”を選ぶ
 - 消去を中止するときは、“いいえ”を選んでください。
5. **[SET]**を押す

すべてのデータを消去する

1. データの一覧を表示し、【MENU】を押す
2. 【▲】【▼】で“全書類消去”を選び、【SET】を押す
3. 【▲】【▼】で“はい”を選ぶ
 - 消去を中止するときは、“いいえ”を選んでください。
4. 【SET】を押す
 - すべてのデータが消去され、“現在、データがありません
データモードを終了します”と表示されます。

参考

- フォーマット操作をすると、書類フォルダ内のすべてのデータが消去されます(34, 142ページ)。

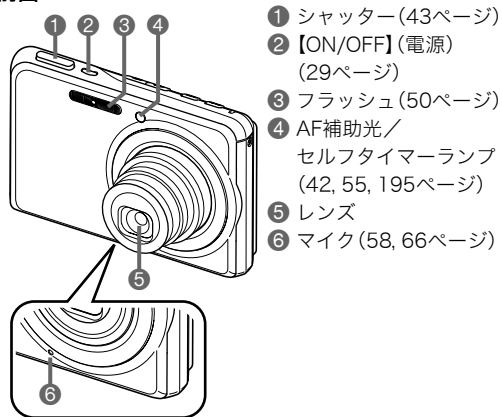
付録

各部の名称

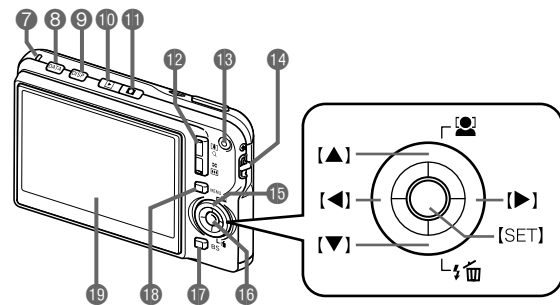
各部の説明が記載されている主なページを()内に示します。

■ カメラ本体

前面

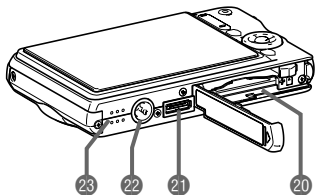


後面



- 7 動作確認用ランプ
(29, 43, 195ページ)
8 【DATA】ボタン
(182ページ)
9 【DISP】ボタン(37ページ)
10 【▶】(再生)ボタン
(29, 141ページ)
11 【📷】(撮影)ボタン
(29, 141ページ)
12 ズームボタン
(48, 111, 113ページ)
13 【●】(ムービー)ボタン
(66ページ)
14 ストラップ取り付け部
(2ページ)
15 コントロールボタン
(【▲】【▼】【◀】【▶】)
16 【SET】ボタン
17 【BS】ボタン(71ページ)
18 【MENU】ボタン
(36ページ)
19 液晶モニター
(37ページ)

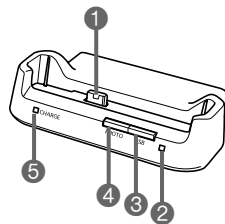
底面



- ②0 電池/メモリーカード挿入部(25, 33ページ)
- ②1 クレードル接続端子(26ページ)
- ②2 三脚穴
三脚に取り付けるときに使用します。
- ②3 スピーカー(103ページ)

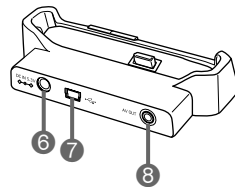
■ USBクレードル

前面



- ① カメラ接続端子
(26ページ)
- ② USBランプ
(156, 170, 196ページ)
- ③ 【USB】ボタン
(146, 156, 170ページ)
- ④ 【PHOTO】ボタン
(108, 109ページ)
- ⑤ 【CHARGE】ランプ
(26, 196ページ)

後面



- ⑥ 【DC IN 5.3V】(外部電源)端子(26ページ)
- ⑦ 【↔】(USB)端子
(145, 156, 170ページ)
- ⑧ 【AV OUT】(AV出力)端子
(109ページ)

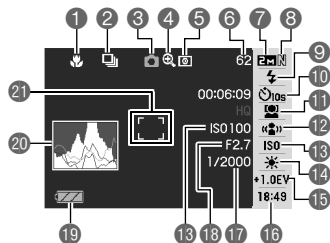
液晶モニターの表示内容

液晶モニターには、さまざまな情報が、アイコンや数字などで表示されます

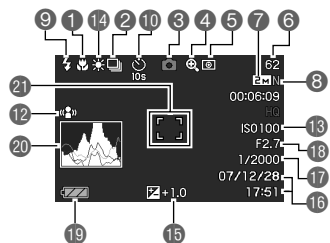
● 下の画面は、情報が表示される位置を示すためのものです。液晶モニターが実際にこの画面のようになることはありません。

■ 静止画撮影モード時

操作パネル入



操作パネル切



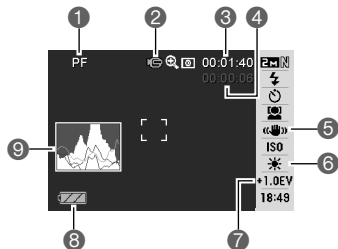
- 1 フォーカス方式(83ページ)
- 2 連写モード(56ページ)
- 3 撮影の種類
- 4 デジタルズーム表示(49ページ)
- 5 測光方式(93ページ)
- 6 静止画撮影可能枚数(204ページ)
- 7 静止画の画像サイズ(45ページ)
- 8 静止画の画質(46ページ)
- 9 フラッシュモード
- 10 セルフタイマーモード(54ページ)
- 11 顔認識(59ページ)
- 12 プレ軽減(75ページ)
- 13 ISO感度(92ページ)
- 14 ホワイトバランス設定(91ページ)
- 15 露出補正(89ページ)
- 16 日付/時刻(138ページ)
- 17 シャッター速度(43ページ)
- 18 絞り値(43ページ)
- 19 電池残量(27ページ)
- 20 ヒストグラム(97ページ)
- 21 フォーカスフレーム(43, 86ページ)

★ 重要

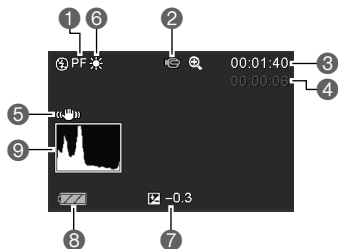
- 絞り値、シャッター速度、ISO感度は、AE(自動露出)が適正でない場合、シャッターを半押ししたとき、オレンジ色で表示されます。

■ 動画撮影モード時

操作パネル入

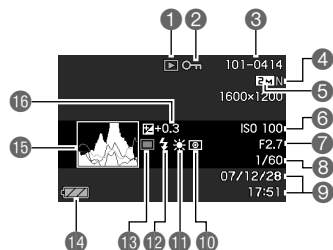


操作パネル切



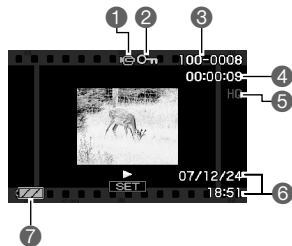
- ① フォーカス方式(83ページ)
- ② 撮影の種類
- ③ 動画の残り撮影時間(66ページ)
- ④ 動画の撮影時間(66ページ)
- ⑤ プレ軽減(75ページ)
- ⑥ ホワイトバランス設定(91ページ)
- ⑦ 露出補正(89ページ)
- ⑧ 電池残量(27ページ)
- ⑨ ヒストグラム(97ページ)

■ 静止画再生モード時



- ① ファイル形態(102ページ)
- ② プロテクト表示(130ページ)
- ③ フォルダ名/ファイル名(129ページ)
- ④ 静止画の画質(46ページ)
- ⑤ 静止画の画像サイズ(45ページ)
- ⑥ ISO感度(92ページ)
- ⑦ 絞り値(43ページ)
- ⑧ シャッター速度(43ページ)
- ⑨ 日付/時刻(138ページ)
- ⑩ 測光方式(93ページ)
- ⑪ ホワイトバランス設定(91ページ)
- ⑫ フラッシュモード(50ページ)
- ⑬ 撮影の種類
- ⑭ 電池残量表示(27ページ)
- ⑮ ヒストグラム(97ページ)
- ⑯ 露出補正(89ページ)

■ 動画再生モード時



- ① ファイル形態(103ページ)
- ② プロテクト表示(130ページ)
- ③ フォルダ名/ファイル名(129ページ)
- ④ 動画の撮影時間(103ページ)
- ⑤ 動画の画質(65ページ)
- ⑥ 日付/時刻(138ページ)
- ⑦ 電池残量表示(27ページ)

メニュー一覧表

【MENU】を押したときに表示されるメニューの一覧表です。撮影モード、再生モードでそれぞれ項目が異なります。

- 「*」この印のある項目は初期値です。

撮影モード

■ “撮影設定”タブ

フォーカス方式	AF (オートフォーカス)* / マクロ / PF (パンフォーカス) / (無限遠) / MF (マニュアルフォーカス)
連写	通常連写 / 高速連写 / フラッシュ連写 / ズーム連写 / 切*
セルフタイマー	10秒 / 2秒 / ×3 / 切*
顔認識	ファミリー優先 / 通常認識 / 切* / 優先設定 / ファミリー登録 / ファミリー編集
ブレ軽減	オート / 切*
AFエリア	スポット* / マルチ / 追尾
AF補助光	入* / 切
デジタルズーム	入* / 切
左右キー設定	測光方式 / EVシフト / ホワイトバランス / ISO感度 / セルフタイマー / 切*


クイックシャッター	入*/切
音声付静止画	入/切*
グリッド表示	入/切*
撮影レビュー	入*/切
アイコンガイド	入*/切
モードメモリ	[BS] ベストショット:入/切* フラッシュ:入*/切 フォーカス方式:入/切* ホワイトバランス:入/切* ISO感度:入/切* AFエリア:入*/切 測光方式:入/切* セルフタイマー:入/切* フラッシュ光量:入/切* デジタルズーム:入*/切 MF位置:入/切* ズーム位置:入/切*

■ “画質設定”タブ

サイズ	8M(3264×2448)*/ 3:2(3264×2176)/ 16:9(3264×1840)/ 6M(2816×2112)/4M(2304×1728)/ 2M(1600×1200)/VGA(640×480)
画質(静止画)	高精細-F/標準-N*/エコノミー-E
画質(動画)	UHQ/UHQワイド/HQ*/HQワイド/ Normal/LP
EVシフト	-2.0/-1.7/-1.3/-1.0/-0.7/ -0.3/0.0*/+0.3/+0.7/+1.0/ +1.3/+1.7/+2.0
ホワイトバランス	オート*/ 太陽光/ 曇天/ 日陰/ N昼白色/ D昼光色/ 電球/マニュアル
ISO感度	オート*/ISO 64/ISO 100/ISO 200/ ISO 400/ISO 800
測光方式	マルチ*/ 中央重点/ スポット
ダイナミックレンジ	拡大+2/拡大+1/切*
美肌処理	ノイズ消去+2/ノイズ消去+1/切*
カラーフィルター	切*/白黒/セピア/赤/緑/青/黄/ ピンク/紫
シャープネス	+2/+1/0*/-1/-2
彩度	+2/+1/0*/-1/-2

コントラスト	+2/+1/0*/-1/-2
フラッシュ光量	+2/+1/0*/-1/-2
フラッシュアシスト	オート*/切




■ “設定”タブ

操作音	起動音*/ハーフシャッター/シャッター/ 操作音/  操作音/  再生音
起動画面	入(画像選択)/切*
ファイルNo.	メモリする*/メモリしない
Language	画面のメッセージ言語の変更
ワールドタイム	自宅*/訪問先
	ホームタイムの詳細設定 (都市名、サマータイムなど)
	ワールドタイムの詳細設定 (都市名、サマータイムなど)
タイムスタンプ	日付/日付+時刻/切*
日時設定	日付と時刻の設定
表示スタイル	年/月/日/日/月/年/月/日/年
DATAボタン	ページを表示/リストを表示*
スリープ	30秒/1分*/2分/切
オートパワーオフ	1分*/2分/5分

REC/PLAY	パワーオン*/パワーオン/オフ/切
USB	Mass Storage (USB DIRECT-PRINT)*/ PTP (PictBridge)
ビデオ出力	NTSC 4:3*/NTSC 16:9/PAL 4:3/ PAL 16:9
フォーマット	フォーマット/キャンセル*
リセット	リセット/キャンセル*

再生モード

■ “再生機能”タブ

スライドショー	開始*/表示画像/時間/間隔/ エフェクト/キャンセル
レイアウトプリント	—
モーションプリント	9コマで作成*/1コマで作成/キャンセル
 手ブレ補正	入/切*
ムービーカット	 (前)カット/  (中)カット/  (後)カット/キャンセル*
ダイナミックレンジ	拡大+2/拡大+1/キャンセル*

ホワイト バランス	太陽光 / 曇天 / 日陰 / N昼白色 / D昼光色 / 電球 / キャンセル*
明るさ編集	+2 / +1 / 0* / -1 / -2
アングル補正	—
退色補正	—
カレンダー表示	—
お気に入り	表示* / 登録 / キャンセル
プリント設定 (DPOF)	選択画像* / 全画像 / キャンセル
プロテクト	オン* / 全ファイル オン / キャンセル
日時編集	—
回転表示	回転* / キャンセル
リサイズ	6M(2816×2112)* / 4M(2304×1728) / VGA(640×480) / キャンセル
トリミング	—
アフレコ	—
コピー	内蔵→カード* / カード→内蔵 / キャンセル

■ “設定”タブ

- 再生モードの“設定”タブの内容は、撮影モードの“設定”タブと同じです。

表示メニュー一覧表

【DISP】を押したときに表示される表示メニューの一覧表です。主に画面表示に関する設定ができます。撮影モード、再生モードでそれぞれ項目が異なります。

- 「*」この印のある項目は初期値です。

撮影モード

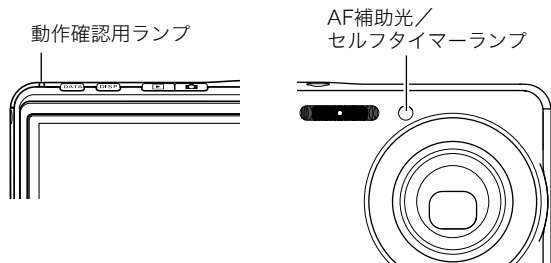
レイアウト	操作パネル入* / 操作パネル切
情報	情報表示あり* / ヒストグラム付 / 切
明るさ	オート* / +2 / +1 / 0 / -1
画質	ダイナミック* / 鮮やか / リアル / ナイトモード / パワーセーブ

再生モード

レイアウト	4:3 / ワイド*
情報	撮影モードの設定と共通になります。
明るさ	撮影モードの設定と共通になります。
画質	撮影モードの設定と共通になります。

ランプの状態と表示内容

カメラ本体には動作確認用ランプとAF補助光/セルフタイマーランプの2つのランプがあります。これらのランプは、カメラの動作内容によって、点灯したり点滅したりします。



撮影モード時

動作確認用ランプ		内容
色	状態	
緑	点灯	起動中(電源オン時、撮影可)/ オートフォーカス合焦/LCDオフ/ スリープ中
	点滅	ムービー取り込み中/画像処理中/ 撮影記録中/オートフォーカス合焦不可/ フォーマット中/終了中(電源オフ時)
赤	点灯	メモリーカードロック/フォルダ作成不可/ メモリーフル/書き込みエラー
	点滅	メモリーカード異常/ メモリーカード未フォーマット/ カスタム登録不可/電池交換警告
オレンジ	点滅	フラッシュ充電中

AF補助光/ セルフタイマーランプ		内容
色	状態	
赤	点滅	セルフタイマーカウントダウン

重要

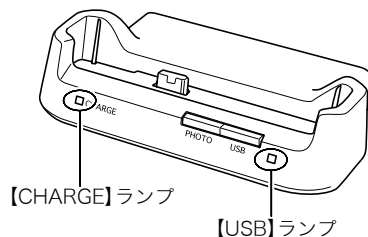
- 動作確認用ランプが緑色に点滅中にメモリーカードを取り出すことは絶対におやめください。撮影された画像がメモリーカードに記録されずに消えてしまいます。

再生モード時

動作確認用ランプ		内容
色	状態	
緑	点灯	起動中(電源オン時、撮影可)
	点滅	消去実行中/DPOF実行中/ プロテクト実行中/コピー実行中/ フォーマット中/リサイズ処理中/ トリミング処理中/アフレコ処理中/ アングル補正中/退色補正中/ モーションプリント処理中/ レイアウトプリント処理中/ ムービーカット処理中/終了中(電源オフ時)
赤	点灯	メモリーカードロック/フォルダ作成不可/ メモリーフル/書き込みエラー
	点滅	メモリーカード異常/ メモリーカード未フォーマット/ 電池交換警告

USBクレードルのランプ


USBクレードルには【CHARGE】と【USB】の2つのランプがあります。これらのランプは、USBクレードルの動作内容によって、点灯したり点滅したりします。











【CHARGE】ランプ		【USB】ランプ		内容
色	状態	色	状態	
赤	点灯			充電中
緑	点灯			充電終了
緑	点滅			充電待機中
赤	点滅			充電エラー
		緑	点灯	USB接続状態
		緑	点滅	メモリアクセス中

故障かな？と思ったら

現象と対処方法

現象	考えられる原因と対処
電源について	
電源が入らない。	1) 電池が正しい向きに入っていない(25ページ)。 2) 電池が消耗している可能性があります。電池を充電してください(25ページ)。それでもすぐに電池が消耗するときは電池の寿命です。別売の当社のリチウムイオン充電電池(NP-20)をお買い求めください。
電源が勝手に切れた。	1) オートパワーオフが働いた可能性があります(31ページ)。再度電源を入れ直してください。 2) 電池が消耗している可能性があります。電池を充電してください(25ページ)。 3) カメラの温度が一定温度を超えたため、保護動作が働いた可能性があります。カメラの電源を切ったまましばらく放置し、カメラの温度を下げてからお使いください。
電源が切れない。ボタンを押しても、カメラが動作しない。	カメラから電池をいったん取り出し、再度入れ直してください。
撮影について	
シャッターを押しても撮影できない。	1) 再生モードになっている場合は、  (撮影) を押して撮影モードにしてください。 2) フラッシュの充電中は、フラッシュの充電が終わるまで待ってください。 3) “メモリがいっぱいです”と表示されている場合は、パソコンに画像を転送後、不要な画像を消去するか、別のメモリーカードをセットしてください。
オートフォーカスなのにピントが合わない。	1) レンズが汚れている場合は、レンズの汚れを取ってください。 2) 被写体がフォーカスフレームの中央にありません。 3) ピントの合いにくい被写体の可能性があります(47ページ)。マニュアルフォーカスモードに切り替えて手でピントを合わせてください(88ページ)。 4) 手ぶれしている可能性がありますので、ブレ軽減の撮影状態に設定してください(75ページ)。または、三脚を使用してください。 5) シャッターを半押しせず、クイックシャッターで撮影した場合にピントが合わない場合があります。シャッターの半押しを確実に行ってピントを合わせてください。

現象	考えられる原因と対処
撮影した画像の被写体がボケている。	ピントが合っていない可能性があります。ピントを合わせたい被写体にフォーカスフレームを合わせて撮影してください。
フラッシュが発光しない。	1) フラッシュの発光方法が「  」(発光禁止)になっている場合は、発光方法を他の方法に切り替えてください(50ページ)。 2) 電池が消耗している場合は、電池を充電してください(25ページ)。 3) ベストショットモードでフラッシュが「  」(発光禁止)のシーンを選んでいる場合は、必要に応じてフラッシュの発光方法を切り替えるか(50ページ)、撮影したいシーンを選び直して(71ページ)ください。
セルフタイマーでの撮影の途中で電源が切れた。	電池が消耗している可能性があります。電池を充電してください(25ページ)。
液晶モニターに表示される画像のピントがあまい。	1) マニュアルフォーカスモードでピント合わせがずれています。ピントを正しく合わせてください(88ページ)。 2) 被写体が風景や人物なのに「  」(マクロモード)になっています。風景や人物を撮影する場合は、オートフォーカスモードにしてください(84ページ)。 3) 接写しているのに、オートフォーカスモードや「  」(無限遠モード)になっています。接写撮影をする場合は「  」(マクロモード)にしてください(85ページ)。
液晶モニターに表示される画面に縦線が入る。	極端に明るい被写体を撮影すると、液晶モニター上の画像に、縦に尾を引いたような光の帯が表示される場合があります(スミア現象)。これはCCD特有の現象で、故障ではありません。なお、この帯は静止画には記録されませんが、動画にはそのまま記録されますので、ご注意ください。
画像にノイズが入る。	1) 被写体が暗いとカメラの感度が自動的に上がるため、ノイズが発生する場合があります。ライトなどを使用して明るくして撮影してください。 2) 暗い場所でフラッシュを「  」(発光禁止)にして撮影すると、ノイズが発生し、多少ざらついた感じになることがあります。その場合は、フラッシュの発光方法を切り替えるか(50ページ)、ライトなどを使用して明るくして撮影してください。 3) 静止画撮影でフラッシュアシスト機能、またはダイナミックレンジ機能を使うと、ノイズが増えることがあります。ライトなどを使用して明るくして撮影してください。
撮影したのに画像が保存されていない。	1) 記録が終了する前に電池切れになった場合、画像は保存されません。電池残量表示が「  」になったら、速やかに電池を充電してください(25ページ)。 2) 記録が終了する前にメモリーカードを抜いた場合、画像は保存されません。記録が終了する前にメモリーカードを抜かないでください。

現象	考えられる原因と対処
風景が明るいのに人物の顔が暗くなってしまった。	人物が光量不足です。フラッシュを“  ”（強制発光）にしてください（日中シンク口撮影）（50ページ）。または、EVシフトを＋側に調整してください（89ページ）。
海岸やスキー場で撮影すると被写体が暗くなる。	海岸や雪面からの強い光の反射に露出が合っているため、露出不足になっています。フラッシュを“  ”（強制発光）にしてください（日中シンク口撮影）（50ページ）。または、EVシフトを＋側に調整してください（89ページ）。
デジタルズーム（HDズーム含む）が効かない。ズームバーが3.0倍までしか表示されない。	1) デジタルズームの設定が“切”になっている可能性があります。設定を“入”にしてください（50ページ）。 2) タイムスタンプを使用していると、デジタルズームが使用できません。タイムスタンプの設定を“切”にしてください（96ページ）。
ファミリー登録したのに、顔が正しく認識されない。	ファミリー登録では顔の特徴情報を登録していますが、良好な情報として保存されていない可能性があります。また、撮影アングルや表情によっては認識しにくい場合があります。正しく認識されない人物の顔を再度ファミリー登録してみてください（61ページ）。
動画撮影中に画像がぼける。	1) 撮影範囲外のためピントが合っていません。撮影範囲内で撮影してください。 2) レンズが汚れている可能性があります。清掃してください（22ページ）。
再生について	
再生した画像の色が撮影時に液晶モニターで見た色と違う。	太陽光など光源からの直接光がレンズに当たっている可能性があります。直接光がレンズに当たらないようにしてください。
画像が表示されない。	DCF規格に準拠していない他のデジタルカメラで撮影したメモリーカードを使用した場合は、ファイル管理形式が異なるため再生できません。
画像編集（レイアウトプリント、リサイズ、トリミング、アングル補正、退色補正、日時編集、回転）ができない。	次の画像は編集できません。 <ul style="list-style-type: none"> ● モーションプリント機能で作成した画像 ● 動画 ● 他のカメラで撮影した画像

現象	考えられる原因と対処
その他	
画面に表示される日時が合っていない。	日時の設定が間違っているので、日時を設定し直してください(138ページ)。
画面に表示される言葉が外国語になっている。	表示言語の設定が間違っているので、表示言語を設定し直してください(140ページ)。
パソコンにUSB接続しても画像が取り込めない。	<ol style="list-style-type: none"> 1) USBケーブルが確実に接続されていない可能性があります。コネクタ端子部を確認して、確実に接続してください。 2) Windows 98SE/98の場合、USBドライバがインストールされていない可能性があります。USBドライバをインストールしてください(155ページ)。USBドライバはカシオデジタルカメラオフィシャルWebサイト (http://dc.casio.jp/) からダウンロードしてください。 3) Windows 98SE/98の場合、USBドライバが間違っでインストールしてしまった可能性があります。USBドライバを正しくインストールし直してください(155ページ)。 4) USB通信の方法が正しく設定されていない可能性があります。USB通信の方法を接続する機器に合わせて正しく設定してください(141ページ)。 5) カメラの電源が入っていない場合は、電源を入れてください。
カメラの電源を入れると、言語設定画面が表示される。	<ol style="list-style-type: none"> 1) ご購入直後の初期設定をしていないか、電池が消耗した状態でカメラを放置しています。各設定を確実に行ってください(10、140ページ)。 2) カメラ内部のメモリー管理エリアが壊れている恐れがあります。この場合は、リセット操作によりカメラの設定内容を初期値に戻してください(101ページ)。その後、各設定を確実に行ってください。再度カメラの電源を入れたときに言語設定画面が表示されなければ、カメラ内部のメモリー管理エリアが修復されました。再度電源を入れても言語設定画面が表示される場合は、カシオテクノ修理相談窓口またはお買い上げの販売店にお問い合わせください(218ページ)。

画面に表示されるメッセージ

圧縮に失敗しました	画像データ記録中に圧縮不可能状態のときに表示されます。撮影し直してください。
インクを補充してください	プリント時に、プリンターのインクが減っている、またはインクが切れている場合に表示されます。
お気に入りのファイルがありません	お気に入りフォルダにファイルが登録されていないときに表示されます。
カードが異常です	<p>メモリーカードに異常が発生したときに表示されます。電源を切って、メモリーカードを差し直してください。再度電源を入れても同じメッセージが表示される場合は、フォーマットしてください(34ページ)。</p> <p>重要</p> <ul style="list-style-type: none"> フォーマットを行うとメモリーカード内のすべての内容(ファイル)が消えてしまいます。フォーマットを行う前にパソコン等を利用して、メモリーカード内の正常なファイルを保存してください。
カードがフォーマットされていません	メモリーカードがフォーマットされていないときに表示されます。メモリーカードをフォーマットしてください(34ページ)。

カードがロックされています	SDメモリーカードまたはSDHCメモリーカードに付いているLOCKスイッチがロックされている状態です。この状態では、記録、消去などファイルを操作することができません。
この機能は使用できません	カメラにメモリーカードを入れない状態で、内蔵メモリーからメモリーカードへファイルをコピーしようとしたときに表示されます(132ページ)。
この画面は補正できませんでした	補正が実行できなかった場合に表示されます。補正せずに画像が保存されます(77ページ)。
このファイルではこの機能は使用できません	各種機能が実行できなかった場合に表示されます。
このファイルは再生できません	ファイルが壊れているか、本機で表示できないファイルを表示しようとしています。
これ以上登録できません	ベストショットモードで「SCENE」フォルダの中にファイルが999シーンある状態でカスタム登録しようとした場合に表示されます。または、9999のお気に入りのファイルがすでにある状態で、さらにお気に入りのファイルを登録しようとした場合に表示されます(73、131ページ)。

設定したファイルが見つかりません	スライドショーの“表示画面”で設定した画像が見つからないときに表示されます。もう一度設定し直してください(105ページ)。
接続エラー	<ul style="list-style-type: none"> プリンター接続時に、カメラのUSB設定がプリンターのUSB接続方式と合っていない場合に表示されます(144ページ)。 Windows 98SE/98の場合、パソコン接続時に、USBドライバがインストールされていない場合に表示されます(155ページ)。
電池容量が無くなりました	電池がなくなったときに表示されます。
電池容量が無くなりました ファイルが保存されませんでした	電池がなくなったため、撮影した画像ファイルが保存されませんでした。
登録可能な画像がありません	ベストショットモードで登録できる画像がないときに表示されます。
ファイルがありません	まだ何も記録していない状態、または記録内容をすべて消去して本機にファイルが一つもない状態です。

フォルダが作成できません	999番のフォルダの中に9999番のファイルが登録されている状態で、撮影しようとしたときに表示されます。撮影を続けるには、不要なファイルを消去する必要があります(134ページ)。
プリントする画像がありません DPOF設定してください	プリントする画像が指定されていないときに表示されます。DPOFの設定を行ってください(147ページ)。
プリントエラー	<p>プリント中のエラー時に表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> プリンター電源オフ、 プリンター本体のエラー、など
メモリがいっぱいです	撮影可能枚数を使い切った場合、または編集後のファイルを保存できるメモリーの空きがない場合に表示されます。不要なファイルを消去してください(134ページ)。
もう一度、電源を入れ直してください	レンズに障害物が当たると、このメッセージが表示され、電源が切れます。障害物がないことを確認して、再度電源を入れてください。
用紙を補充してください	プリント時に、プリンター用の用紙が切れている場合に表示されます。

レンズエラー	<p>レンズが予期せぬ動作をしたとき、このメッセージが表示され、電源が切れます。再度電源を入れても同じメッセージが表示される場合は、カシオテクノ修理相談窓口またはお買い上げの販売店にお問い合わせください(218ページ)。</p>
ALERT	<p>カメラの温度が一定温度を超えたため、保護動作が働いた可能性があります。カメラの電源を切ったまましばらく放置し、カメラの温度を下げたからお使いください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • “ALERT”が表示された場合は以下の症状になります。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 電源が切れる。 2) 動画の撮影ができない、または撮影時間に制限が発生する。 3) 液晶モニターの明るさが“0”に設定される。
SYSTEM ERROR	<p>カメラのシステムが壊れていますので、カシオテクノ修理相談窓口またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。</p>

主な仕様／別売品

主な仕様

品名 デジタルカメラ

機種名 EX-S880

■ カメラ機能

記録画像ファイル

フォーマット 静止画：JPEG(Exif Ver.2.2)、DCF(Design rule for Camera File system)1.0準拠、DPOF対応

動画：MOV形式、H.264/AVC準拠

音声：WAV

記録媒体

内蔵メモリ10.8MB

SDHCメモリーカード(SDHC Memory Card)

SDメモリーカード(SD Memory Card)

マルチメディアカード(MMC)

マルチメディアカードプラス(MMC*plus*)

記憶容量

● 静止画

画像サイズ (pixels)	画質	画像ファイル サイズ	内蔵メモリー 10.8MB	SDメモリー カード1GB
8M (3264×2448)	高精細-F	約4.59MB	約2枚	約210枚
	標準-N	約2.46MB	約4枚	約393枚
	エコノミー-E	約1.67MB	約6枚	約579枚
3:2 (3264×2176)	高精細-F	約4.3MB	約2枚	約224枚
	標準-N	約2.31MB	約4枚	約418枚
	エコノミー-E	約1.57MB	約6枚	約616枚
16:9 (3264×1840)	高精細-F	約3.73MB	約2枚	約259枚
	標準-N	約2.02MB	約5枚	約478枚
	エコノミー-E	約1.38MB	約7枚	約700枚
6M (2816×2112)	高精細-F	約3.48MB	約3枚	約277枚
	標準-N	約1.89MB	約5枚	約511枚
	エコノミー-E	約1.3MB	約8枚	約743枚
4M (2304×1728)	高精細-F	約2.5MB	約4枚	約386枚
	標準-N	約1.4MB	約7枚	約690枚
	エコノミー-E	約900KB	約12枚	約1074枚
2M (1600×1200)	高精細-F	約1.26MB	約8枚	約767枚
	標準-N	約790KB	約13枚	約1224枚
	エコノミー-E	約470KB	約23枚	約2057枚
VGA (640×480)	高精細-F	約330KB	約33枚	約2930枚
	標準-N	約190KB	約56枚	約5089枚
	エコノミー-E	約140KB	約76枚	約6906枚

● 動画

画質 (pixels)	1ファイル 最大サイズ	転送レート (フレーム/秒)	内蔵メモリー 10.8MB	SDメモリー カード1GB
UHQ 640×480	最大4GB まで	約5.8メガビット/秒 (30フレーム/秒)	約13秒	約22分48秒
UHQワイド 848×480		約7.0メガビット/秒 (30フレーム/秒)	約10秒	約18分53秒
HQ 640×480		約2.8メガビット/秒 (30フレーム/秒)	約26秒	約47分24秒
HQワイド 848×480		約3.4メガビット/秒 (30フレーム/秒)	約21秒	約38分59秒
Normal 640×480		約1.4メガビット/秒 (30フレーム/秒)	約51秒	約1時間34分
LP 320×240		約545キロビット/秒 (15フレーム/秒)	約2分8秒	約4時間

※ 撮影できる枚数は目安であり、表示されている枚数よりも少なくなる可能性があります。

※ 画像ファイルサイズは目安であり、撮影対象により、画像ファイルサイズが変わります。

※ SDメモリーカードは松下電器産業(株)製のPRO HIGH SPEED SDメモリーカードの場合です。使用するメモリーカードによって撮影枚数は異なる場合があります。

※ 容量の異なるメモリーカードをご使用になる場合は、おおよそその容量に比例した枚数が撮影できます。

消去	1ファイル単位、全ファイル一括消去可能 (メモリープロテクト機能付き)
有効画素数	810万画素
撮像素子	1/2.5型正方画素原色CCD (総画素数:829万画素)
レンズ/焦点距離	F2.7-5.2/f=6.2~18.6mm (35mmフィルム換算38~114mm相当) 非球面レンズを含む5群6枚
ズーム	光学ズーム3倍/ デジタルズーム4倍 (画像サイズ:8M(3264×2448 pixels)時) (光学ズーム併用1.2倍)
焦点調節	コントラスト検出方式オートフォーカス フォーカスモード: オートフォーカス/マクロモード/ パンフォーカス/無限遠モード/ マニュアルフォーカス選択可能 AFエリア: スポット/マルチ/追尾選択可能、AF補助光付き
撮影可能距離 (レンズ表面より)	オートフォーカスモード:約40cm~∞ マクロモード:約15cm~約50cm 無限遠モード:∞ マニュアルフォーカスモード:約15cm~∞ ※ 光学ズームにより、範囲は変化します。
露出制御	測光方式:撮像素子によるマルチバターン測光/ 中央重点測光/スポット測光 制御方式:プログラムAE 露出補正:-2EV~+2EV(1/3EV単位)

シャッター	CCD電子シャッター/メカシャッター併用 静止画(オート):1/2~1/2000秒 ※ ベストショットモードの一部では異なります。 夜景を写します:4~1/2000秒
絞り値	F2.7/8.0自動切替式 ※ F8.0はNDフィルター併用による値です。 ※ 光学ズームにより、絞り値は変化します。
ホワイトバランス	オート/固定(6モード)/マニュアル
感度設定	静止画:オート/ISO 64/ISO 100/ISO 200/ ISO 400/ISO 800 ※ メニュー画面で“ブレ軽減”を“オート”に、または ベストショットの“ブレ軽減”に設定した場合は 最大ISO800、ベストショットの“高感度” においては最大ISO1600 動画:オート
セルフタイマー	作動時間約10秒、2秒、トリプルセルフタイマー
内蔵フラッシュ	発光モード:フラッシュオート、発光禁止、強制発光、 ソフト発光、赤目軽減機能切替可能 フラッシュ撮影範囲: 広角時 約0.15m~約3.9m 望遠時 約0.4m~約2.0m ● フラッシュ連写: 広角時 約0.4m~約1.7m 望遠時 約0.4m~約0.9m ※ ISO感度オート時 ※ 光学ズームにより、撮影範囲は変化します。

撮影／録音関連機能	静止画撮影(音声付き)、マクロ撮影、セルフタイマー撮影、連写、ベストショット撮影、顔認識撮影、動画撮影(ムービー、ショートムービー、パストムービー、ショートムービーとパストムービー以外のベストショットモードでの動画撮影、YouTube)(音声付き)、音声録音(ボイスレコード) ※ 音声はモノラルです。
音声記録時間	音声付き静止画撮影:1画像につき最長約30秒間 アフターレコーディング:1画像につき最長約30秒間 ボイスレコード:約33分43秒(内蔵メモリーの場合)
モニター	2.8型ワイドTFTカラー液晶 230,400(960×240)画素
ファインダー	液晶モニター
時計機能	クォーツデジタル時計内蔵 日付・時刻:画像データと同時に記録 タイムスタンプ機能あり 自動カレンダー:2049年まで
ワールドタイム	世界162都市(32タイムゾーン)に対応 都市名、日付、時刻、サマータイム
入出力端子	クレードル接続端子
USB	USB2.0 Hi-Speed 対応
マイク	モノラル
スピーカー	モノラル

■ 電源部、その他

電源 リチウムイオン充電電池(NP-20)×1個

電池寿命

下記の電池寿命は温度23°Cで使用した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証時間または保証枚数ではありません。低温下で使うと、電池寿命は短くなります。

撮影枚数(CIPA) ^{※1}	約220枚
連続再生時間(静止画) ^{※2}	約4時間
動画連続撮影時間	約1時間30分
ボイスレコード録音時間 ^{※3}	約5時間10分

- 使用電池:NP-20(定格容量:700mAh)
- 記録メディア:SDメモリーカード1GB(SDメモリーカードは松下電器産業(株)製のPRO HIGH SPEED SDメモリーカードの場合です)

● 測定条件

- ※1 撮影枚数(CIPA)
CIPA規準に準ずる
温度(23°C)、液晶モニターオン、30秒毎にズームのワイド端とテレ端で交互に撮影、フラッシュ発光(2枚に1回)、10回撮影に1度電源を切/入操作

※2 連続再生時間

温度(23°C)、約10秒に1枚ページ送り

- ※3 ボイスレコード録音時間は、連続で録音したときの時間です。

- 上記は、新品の電池のフル充電状態での数値です。繰り返し使用すると、電池寿命は徐々に短くなります。
- フラッシュ、ズーム、オートフォーカスの使用頻度や電源が入った状態の時間により、撮影時間または枚数は大幅に異なる場合があります。

消費電力	DC3.7V 約4.3W
外形寸法	幅94.5mm×高さ60.4mm×奥行き17.3mm (突起部除く、最薄部13.7mm)
質量	約128g(電池、付属品除く)
付属品	リチウムイオン充電電池(NP-20)、USBクレードル(CA-37)、専用ACアダプター(AD-C52G)/電源コード、USBケーブル、AVケーブル、ストラップ、CD-ROM、取扱説明書(保証書付き)

■ リチウムイオン充電電池(NP-20)

定格電圧	3.7V
定格容量	700mAh
使用周囲温度	0~40°C
外形寸法	幅33.0mm×高さ50.0mm×奥行き4.7mm
質量	約16g

■ USBクレードル(CA-37)

入出力端子	カメラ接続端子、USB接続端子、外部電源端子(DC IN 5.3V)、AV接続端子(AV出力:NTSC/PAL標準方式準拠)
消費電力	DC5.3V 約3.2W
サイズ	幅109mm×高さ24mm×奥行き58mm (突起部除く)
質量	約47g

■ 専用ACアダプター(AD-C52G)

入力電源	AC100-240V 50/60Hz 83mA
出力電源	DC5.3V 650mA
サイズ	幅50mm×高さ20mm×奥行き70mm (突起部、ケーブル除く)
質量	約90g

別売品

- 充電器 BC-11L
- リチウムイオン充電電池 NP-20
- ソフトケース ESC-81
- ネックストラップ ENS-1
- ネックストラップ ENS-2

別売品は、お買い求めの販売店、またはカシオ・オンラインショッピングサイト(e-カシオ)にご用命ください。
e-カシオ: <http://www.e-casio.co.jp/>

カシオデジタルカメラに関する情報は、カシオデジタルカメラオフィシャルWebサイトでもご覧になることができます。
<http://dc.casio.jp/>

索引

英数字

12分割	112
ACアダプター	26
Adobe Reader	153, 167
AFエリア	86
AF補助光	46
BGM	106
CASIO DATA TRANSPORT	153, 169
インストール	178, 180
DCF規格	175
DirectX	153
DPOF	147
EVシフト	89
Exif Print	149
HDズーム	50
ISO感度	92
Language	140
Mass Storage	141, 156, 170
MMC (マルチメディアカード)	32
MMC <i>plus</i> (マルチメディアカードプラス)	32
NTSC方式	110
PAL方式	110
PDFファイル	167

Photo Loader with HOT ALBUM	153, 160
インストール	160
Photo Transport	153, 164
インストール	164
PictBridge	149
PictBridge 対応のプリンター	144
PRINT Image Matching III	149
PTP	141
QuickTime	161, 173
SDメモリーカード	32
SDHCメモリーカード	32
T-Time	152
USB DIRECT-PRINT	149
USB DIRECT-PRINT 対応の プリンター	144
USB通信	141
USBドライバ	155
YouTube Uploader for CASIO	152, 162
インストール	162

あ

アイコンガイド	100
赤目軽減	50, 52
赤目用プリ発光	52
明るさ編集	122
鮮やかさ	95
アフレコ	126

アングル補正	116
一時停止	104
一覧表示	112
印刷	143
インストール	
Photo Loader with HOT ALBUM	160
USBドライバ	155
液晶モニター	189
明るさ	40
画質	41
情報	40
表示内容	37, 189
レイアウト	38
オート撮影	13
オート撮影アイコン	43
オートパワーオフ	31
オートフォーカス	83, 84
制限事項	47
オートフレーミング	81
オートマクロ	85
お気に入りフォルダ	131
登録	131
ファイルを消去	135
お手入れ	22
音声	126
静止画に音声を加える	58
録音し直す	126
録音する	58
音声だけを録音する	127

音声付き静止画	58
音声を聞く	103
音声付き静止画の再生	103
音量	104, 136

か

海外で使うときは	29
回転	119
顔認識	59
拡大	104, 111
画質	13
静止画	13, 46
動画	15, 65
カスタム登録	73
画素	45
画像サイズ	13
決める	45
画像転送	164
画像ルーレット	114
カラーフィルター	95
カレンダー形式	113
感度を上げる	76
キーカスタマイズ	98
聞く	
音声	103
静止画の音声	58
ボイスレコードの音声	128
基準線	99
起動画面	137

強制発光	50
クイックシャッター	87
グリッド	99
蛍光灯	91
結露	21
光学ズーム	48
交換	
電池	28
メモリーカード	34
コピー	132
コントラスト	96

さ

再生音量	136
再生する	102
再生モード	29
彩度	95
撮影	
撮影可能枚数 (電池寿命)	206
撮影可能枚数 (メモリー容量)	204
静止画	13, 42
動画	15, 65, 66
ムービー	66
撮影モード	29
撮影レビュー	99
左右キー設定	98
色調	95
時刻	10
シャープネス	95

シャッター	13
充電	9, 25, 26
使用環境	21
消去	17, 134
消去防止	130
ショートムービー	67
書類データ	178
ズーム撮影	48
ズームバー	49
スチル イン ムービー	70
スポット	93
スライドショー	105
スリープ	31
静止画	
一部を切り抜く	115
音声を加える	58
音声を追加する (後から)	126
画質	13
撮影する	13, 42
動画から作成する	125
動画撮影中に静止画を撮影する	70
見る	14, 102
整理	129
接続	
DVDレコーダー	110
テレビ	109
パソコン	155, 169
ビデオデッキ	110
セルフタイマー	54
全押し	14
鮮明さ	95

操作音.....	136
操作音量.....	136
操作パネル.....	38
測光方式.....	93
ソフト発光.....	50

た

退色補正.....	117
ダイナミックレンジ.....	94, 122
タイムスタンプ.....	96
ためし撮り.....	21
中央重点.....	93
著作権.....	19
追尾.....	86
データキャリング.....	178
デジタルズーム.....	48
オフにする.....	50
デジタルズーム表示.....	49
手ブレ.....	75
テレビ.....	109
電源を入れる.....	29
電源を切る.....	30

電池	
入れる.....	9, 25
交換する.....	28
残量.....	27
充電する.....	9, 25
消耗を抑える.....	31
不良.....	27
保管.....	28
予備.....	29
電池カバー.....	25
電池残量.....	27
動画	
画質.....	15, 65
カットする.....	123
形式.....	65
サイズ.....	65
撮影する.....	15, 65, 66
見る.....	16, 103
動作確認用ランプ.....	13, 43
登録	
お気に入りフォルダ.....	131
トリミング.....	115

な

内蔵メモリー	
フォーマットする.....	142
メモリーカードにコピー.....	133
日時.....	138
日時設定.....	138
日時編集.....	118

は

パストムービー.....	69
パソコン	
画像を管理する.....	160, 172
画像を保存する.....	158, 172
カメラの画像を見る.....	157, 171
接続.....	155, 169
動画を再生する.....	161, 173
動作環境.....	153, 169
発光禁止.....	50
早送り/早戻し.....	104
半押し.....	14
パンフォーカス.....	83, 88
ビジネスショット.....	77
被写体ブレ.....	75
ヒストグラム.....	97
日付と時刻.....	10, 138
日付の表示スタイル.....	138
日付プリント.....	149
ビデオ出力の方式.....	110
ビデオデッキ.....	110
美肌処理.....	95
表示言語.....	140
表示メニュー.....	37, 194
ピント	
合わせる.....	43, 83
ファイル.....	129
コピー.....	132
消去.....	135

ファイルサイズ	
音声	59
動画	65
ファイル名	129
フォーカスフレーム	13, 43
フォーカスモード	83
フォーカスロック	87
フォーマット	12
内蔵メモリー	142
メモリーカード	12, 34
フォトスタンド	108
フォルダ	129
フォルダ構造	175
フォルダ名	129
フラッシュ	50
強さを変える	52
フラッシュアシスト	53
フラッシュオート	50
プリンター	
PictBridge 対応	144
USB DIRECT-PRINT 対応	144
プリンターでプリントする	144
プリント	143
プリントサービスのお店	143
プリントする画像や枚数	147
ブレ軽減	75
ベストショット	18, 71
シーン	71
編集	115
ボイスレコード	127

ホームタイム	
都市	138
日時	138
補正する	
明るさ	89
露出	89
保存	
内蔵メモリーに保存	11, 32
パソコンに保存	158
メモリーカードに保存	11, 32
ホワイトバランス	
調整	91
補正	121

ま

マイベストショット	73
マクロ	83, 85
マニュアルフォーカス	83, 88
マニュアルホワイトバランス	91
マルチ (マルチパターン)	93
見る	
お気に入りフォルダ	131
静止画	14, 102
動画	16, 103
ムービー	
撮影する	66
ムービーアイコン	15, 16
無限遠	83, 88
明暗の差	96
メッセージ	201

メッセージの言語	10
メニュー	36
メニュー一覧表	191
メモリーカード	32
入れる	11, 33
交換する	34
フォーマットする	12, 34
メモリープロテクト	130
モーションプリント	125
モードメモリ	100

や

ユーザー登録	167, 173
予備の電池	29
よみがえりショット	78

ら

リサイクル	22
リサイズ	115
リセット	101
レイアウト	38
レイアウトショット	80
レイアウトプリント	119
連写	56
高速連写	56
ズーム連写	56
通常連写	56
フラッシュ連写	56

連続撮影.....	56
連番のカウント方法.....	137
録音.....	58
露出	
確認する.....	97
補正する.....	89

わ

ワールドタイム.....	139
--------------	-----